

赤尾の “現場で勝てる” Visual Basic

第10回

6.0

イメージビューワで練習する応用技 その3

赤尾 猫太 AKAO, Nekota

「バグとデバッグ」「ドライブ／フォルダ／ファイルの指定」 「スクロール処理」



はじめに

さて、前回でひととおりイメージビューワとしての機能をサンプルプログラムに実装しました。しかし、まだバグがあるとお伝えしましたね。バグは見つかりましたでしょうか？

この連載で作成しているイメージビューワは勉強するためのサンプルとして作成しているプログラムなので、覚えることをいろいろと入れてあります。そのため、あまり効率の良いプログラムではないかもしれませんが、それはバグではないので今回はおいておきましょう。

このプログラムのバグは、次のような操作の場合に発生します。

まず、メニューの [表示] - [プレビュー表示] をチェックして、プレビューフォーム (Form2) を表示する設

定にしておきます。その後、メニューから [ファイル] - [開く] と選択して画像を指定します。すると画像を表示したForm1とプレビューを表示したForm2が表示されますね。続いて、メニューから再び [ファイル] - [開く] と選択して別のフォルダにある画像を指定します。すると、Form1には指定した画像が表示されますが、Form2のプレビューは最初に指定した画像が入っているフォルダの内容を表示しています。さて、これはどうしてでしょうか？

前回、Load イベントの発生タイミングの説明をしましたね。Load イベントの発生やShowメソッドの実行による動作などを思い出してください。画像を表示している状態で別のフォルダにある画像を表示しようとするときに、Form2が再びLoadされないためにこのバグが起きているのです。



Load イベントを強制的に起こす

では、どのように対処すればよいのでしょうか。ひとつには「Form2のLoadイベントを強制的に起こす」という方法があります。そのために、Form2のLoadイベント(リスト1)のコードを一部変更します。

まず最初の、

```
Private Sub Form_Load()
```

本稿で前提となるもの

OS Windows 98以上

開発環境 Visual Basic 5.0/6.0

初級 中級 上級

この記事で解説したサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DMAG¥AKAOフォルダ以下に収録しています。

¥VIEWER3：今回作成したイメージビューワ



リスト1：Form2のLoadイベント

```

Private Sub Form_Load()
    Dim i As Integer

    ' 表示対象フォルダをタイトルに表示
    Me.Caption = TargetFolder

    With File1
        ' 内緒で使うコントロールを見えなくする
        .Visible = False
        ' 対象フォルダセット
        .Path = TargetFolder
        ' 対象拡張子セット
        .Pattern = "*.bmp"
        ' リフレッシュ
        .Refresh
    End With

    ' ボタンの処理
    Command1(0).Caption = "次"
    If File1.ListCount < 11 Then
        ' 個数が11より小さければ次ボタンは使えない
        Command1(0).Enabled = False
    End If
    Command1(1).Caption = "前"
    ' 最初は前ボタンは使えない
    Command1(1).Enabled = False

    ' マウスカーソル変更
    Form2.MousePointer = vbHourglass

    ' 画像表示
    For i = 0 To 9
        ' ストレッチ指定にする
        Image1(i).Stretch = True

        If i > File1.ListCount - 1 Then
            ' 現在のイメージはない
            NowPrintImage(i) = ""

            ' 対象のないイメージは隠す
            Image1(i).Visible = False
        Else
            ' 現在のイメージのファイル名セット
            NowPrintImage(i) = TargetFolder & "%*" & File1.List(i)

            ' 対象表示
            Image1(i).Picture = LoadPicture(NowPrintImage(i))
        End If
    Next i

    ' マウスカーソル変更
    Form2.MousePointer = vbDefault
End Sub
    
```

の部分、

```
Public Sub Form_Load()
```

と変更します。この変更は、後述するForm1のmnuOpenのClickイベント（リスト2）の中で、このForm2のLoadイベントをサブルーチンとして呼び出すための事前準備です。このように各Formのイベントも宣言を変更することによって、あたかもサブルーチンのように扱うことができるのです。

続いて、Form2を表示するためのコードを変更します。対象箇所は前述したように、Form1のmnuOpen_Clickイベント内です（リスト2-①）。ただし、Form2をShowするときにもLoadイベントが発生するわけですから、単純にCallだけを用いて処理を行なうと二重にLoadイベントが実行されてしまいます。そこで、次のようにForm2が存在するかどうかを確認した上で、存在している場合だけ処理を行なうように変更します。

```

' プレビューするためのフォームの表示
If mnuPreview.Checked = True Then
    Form2.Show
    If Forms.Count <> 1 Then
        Call Form2.Form_Load
    End If
End If
    
```

■ もうひとつのバグ

これでサンプルプログラムを実行してみましょう。うまく動作しましたか？ 「うまくいった」と思った方は、まだまだデバッグになれていませんね。たとえば、最初に7個のbmpファイルを含んでいるフォルダにある画像を表示して、続いて10個のbmpファイルを含んでいる別のフォルダの画像を表示してみてください。7つしか表示されないはずですが、ここにもバグが潜っていました。

これは、このプログラムが「Form2のLoadが行なわれた場合、10個のイメージコントロールのVisibleプロパティは必ずTrueである」という前提で作成されているために起こるバグです。このバグの対処方法は、Form2の

